学校番号	３１６

平成 31 年度 国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校改訂版　標準古典Ｂ　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年次では、一年次に引き続き、単語の意味や文法など、古典の基礎的な知識を習得しましょう。
・音読により古文のリズムを楽しみ、古文により親しみを持ちましょう。
・古文では予習で意味調べをやってもらいます。辞書を用いて古文単語を身につけましょう。
・人物の心情や当時の生活を読み取り、古文をより身近なものにしましょう。

2　学習の到達目標

・我が国の歴史の中で創造され、継承されてきた言語文化に対して広くかつ深い関心を持つことができている。
・古典を適切に理解することができる。
・古典を広く豊かに感じ取り、かつ味わうことのできる能力を身に付けている。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く力	c:書く力	d:読む力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えることができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、ワークシート等）			・記述の確認（ノート、ワークシート等） ・定期考査	・記述の確認及び分析（ワークシート等） ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随筆一	教材 「枕草子」 春は、あけぼの うつくしきもの	○			○	○	a:音読や内容理解に積極的に取り組もうとする。 d:作者の心情を捉え、内容について読み取っている。 e:古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a:行動の観察 d:e:記述の確認及び定期考査
	物語一	教材 「源氏物語」 光る君誕生 若紫	○			○	○	a:音読や内容理解に積極的に取り組もうとする。 d:登場人物の言動に着目して読むことができている。 e:人物の心情や情景を適切に読み取り、語句の用い方について理解できている。	a:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査
二学期	随筆一	教材 「方丈記」 ゆく川の流れ 安元の大火	○			○	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:話の構成や作者の考えについて読み取ることができる。 e:文法のきまりや無常観について理解できている。	a:行動の観察 d:e:記述の確認及び定期考査
	物語二	教材 「大鏡」 延喜の帝 弓争い	○			○	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手がかりとしている。 d:文法事項をおさえながら、登場人物の心情の変化を読み取ることができている。 e:文法のきまりや古典常識について理解できている。	a:行動の観察 d:e:記述の確認及び定期考査
	漢文	教材 漢詩「絶句」杜甫 「臨洞庭」孟浩然	○				○	a:漢文や中国の歴史に親しみを持ち、 e:漢詩及び漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査

三学期	日記一	教材 「更級日記」 門出 源氏の五十余巻	○			○	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:登場人物の心情を捉え、自分の体験と比較しながら読むことが出来ている。 e:文法の決まりや、日記文学史などについて理解している。	a:行動の観察 d:e:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く力
c:書く力　　d:読む力　　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。